

健康セミナー
『高齢者施設のご紹介』
～老健ってどんなところ？～

宮崎江南病院附属介護老人保健施設
支援相談員

万が一、自宅での生活が難しくなったら

- ▶ 入院により、足腰が弱ってしまい、歩けなくなった
- ▶ 同居家族の入院等により、身の回りの支援をする方がいなくなった

など、様々な理由で自宅での生活ができなくなる場合があるかもしれない・・・。

こんな時に

ご本人並びにご家族が安心できるよう、介護老人保健施設のご紹介をさせていただきます。

介護老人保健施設（老健）とは？

- ▶ 何を目的とした施設なのか？
- ▶ どんな人が利用できるのか？
- ▶ どんな専門職が配置されているのか？
- ▶ どのような利用の仕方があるのか？
- ▶ 費用は？
- ▶ 入所期間は？



▶ 何を目的にした施設なのか？

→ 介護を必要とする高齢者の自立を
支援し、介護、看護、リハビリを提供し、
家庭への復帰を目指す施設



▶ どんな人が利用対象なのか？（入所）

→ 要介護 1 から要介護 5 の認定を受けている方
病状が安定し入院する必要がない方

▶ どんな専門職が配置されているのか？



▶ どんな利用の仕方があるのか？



状態を見ながら、
必要な期間、
継続して
入所する



入所して認知症の集中的な
リハビリテーション
を受ける



自宅から老健の
通所リハビリテーション
(デイケア)に通う

※デイケアとデイサービスは異なるサービスです
デイケアは、医師・リハビリテーション専門職が関与し、
リハビリテーションを提供するサービスです。

自宅で老健の
訪問リハビリ
テーション
を受ける



介護をする家族が、介護に疲れた際に、
ショートステイを利用する



老健で最期の
時を過ごす



寒くて体調を崩しやすい
冬場だけ入所する



特養の入居待ちの間、老健に入所する



※老健は、65歳以上の要介護認定(要介護1~5)を受け
た方で、病状が安定していて入院治療の必要がなく、リハ
ビリテーションを必要とされる方が利用できます。
※お住まいの地域の老健によっては対応が難しいケースも
あるため、ご利用を検討される際には一度ご相談ください。

1か月以上の入所や短い期間の入所(ショートステイ)、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションなどのサービスを、すべて提供できるのは老健だけです。

介護老人保健施設とは？(老健)

- ▶ どれくらいの費用がかかるのか？（入所した場合）

→ 介護度、課税状況、年金収入、貯蓄等によつて異なる

大部屋 約7～12万円

個室 約8～17万円

介護負担割合によつては、もっと高いことも

- ▶ 入所期間はどれくらいか？

→ おおよそ3ヶ月～6ヶ月



宮崎江南病院附属介護老人保健施設



個室



2床室



4床室



当施設を利用され、自宅へ
退所された方の一例を紹介します

- ▶ 入所者 A様 90歳代 男性
- ▶ 身体状況 日常生活において介護が必要
- ▶ 家族状況 妻と二人暮らし

入所までの経過

- ・ 70歳ころから歩行が不安定。
- ・ 自宅はキャスター付きの椅子を歩行器代わりに移動していた。
- ・ R7年2月に尿路感染、敗血症、腰部脊柱管狭窄症により入院。
- ・ 入院中に介護保険を申請し、要介護④の認定。
- ・ その後リハビリ希望にて入所された。

自宅復帰に向け取り組んだこと

●介護保険サービスの調整

ケアマネジャー、本人、家族と相談し
自宅退所後の生活をイメージ

通所リハビリ？

訪問看護？

短期入所(宿泊)？

福祉用具レンタル？



自宅復帰に向け取り組んだこと

- 自宅環境の調整

自宅へ訪問し、自宅環境を確認

⇒ 介護保険サービスを利用し

- ・ 住宅改修

(手すりなど)

- ・ 福祉用具をレンタル

(ベッド、車いす、昇降機)



自宅復帰に向け取り組んだこと

●退所前の話し合い

⇒ご家族、居宅担当ケアマネジャー、
訪問看護、福祉用具担当者が集まり
退所後のサービスについて確認

住宅改修

訪問看護

短期入所(宿泊)

福祉用具レンタル



自宅へ退所

介護保険サービスを利用しながら、ご自宅で生活されています。

ご家族不在時や体調不良の際に
ショートステイ(短期入所)
を利用されています。



最後に

興味が湧いた、見学したいなど、
ありましたら、いつでもご連絡お待ちしております！！

